

大阪府本部だより

2026.7.1. 発行 Vol. 46, No. 3 通巻 第 330 号

発行人：吉田義隆

全日本エンジョイ 80
写真コンテスト

人生 100 年時代と言われる今、大阪府本部では「80 歳以上の方」を対象とした写真コンテストを開催しています。今年で第 3 回目を迎えることとなりました。長年にわたり人生を歩んでこられた皆さまだからこそ出会える風景、感じ取れる瞬間、そして人への温かなまなざしがあります。若さや技術だけでは表現できない、人生経験を重ねた方ならではの作品をぜひ拝見したいと考えています。

写真を撮るために外へ出かけ、人と出会い、季節を感じ、作品づくりを楽しむことは、心と身体の元気にもつながります。「いつまでも元気で写真を楽しんでいただきたい」という願いも、このコンテストの大きなコンセプトのひとつです。特別な題材でなくても構いません。日々の暮らしの中で心が動いた瞬間や、ご自身らしい視点で切り取った作品をお待ちしております。

皆さまの豊かな感性と経験が込められた力作を、ぜひご応募ください。詳細は、同封のチラシをご覧ください。

全日本写真連盟創設 100 周年
記念 春の大撮影会 ご報告

大阪府本部では 4 月 25 日（土）、吹田市千里にある大阪万博記念公園にて、全日本写真連盟創立 100 周年の記念事業として開催した、ヨドバシカメラとのコラボレーションによる大撮影会は晴天に恵まれ、約 550 人の参加者を迎え盛大に開催する事ができました。

全日写連ではフラダンス、阿波踊り、チアリーディング、チンドンマン、舞踏家デカルコ・マリー氏による多彩なパフォーマンス撮影会を実施しました。一方、ヨドバシカメラは著名なプロ写真家指導によるポートレートモデル撮影会が行われました。参加者は双方の撮影を自由に楽しみ、会場は終始活気と熱気に包まれました。出演者の熱演と参加者の撮影意欲が一体となり、100 周年記念事業にふさわしい撮影会となりました。特に全日写連のパフォーマンス撮影では、終了間際出演者全員による総踊りが行われ、会場は最高潮の盛り上がりの中でフィナーレを迎えました。最後まで絶えることなくシャッター音が響き渡り参加者の熱意と感動が伝わる一日となりました。今回の撮影会開催にあたり、ご協力頂きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます



審査の結果

<コンテスト総評>

全日本写真連盟創立 100 周年を記念して、大阪府本部とヨドバシカメラとの共催による大撮影会が 4 月 25 日に開催されました。会場となった万博記念公園には全国から約 550 名の写真愛好家が集い、阿波踊りやフラダンス、チアリーダーディング、ちんどん、パフォーマー、モデルなど多彩な被写体に熱心にカメラを向けました。

パフォーマンス部門の写真コンテストには 349 点の作品が寄せられました。望遠レンズで被写体の一部分を大胆に切り取った作品、ワイドレンズで演技全体の躍動感を表現した作品やさらには影や後ろ姿、演技の一瞬の表情や動きに着目した作品など、それぞれが独自の視点と感性で撮影された力作がたくさんありました。

審査では、被写体の魅力を的確にとらえているのはもちろん、構図やタイミング、光の扱い方や一瞬を見極める

観察力、そして撮影者ならではの表現力に注目しました。その結果、入賞・入選 33 点が選ばれました。展示作品を通して、撮影会当日の熱気や賑わい、そして写真を楽しむ人々の情熱を感じ取っていただければ幸いです。

審査委員長 榎並悦子

審査委員 榎並悦子（審査委員長）、橋本 弦（関西本部長）、山中健次（総本部理事）、吉田義隆（大阪府本部委員長）

●最優秀賞「共演」野勢 誠（大阪府）

●朝日新聞社賞「青空フィナーレ」

高橋修三（大阪府）

●全日本写真連盟賞「情熱の美学」

小篠 勝（大阪府）

●ヨドバシカメラ賞「射し込む」

堀 廣一（大阪府）

●関西本部長賞「躍動」

長原恭子（兵庫県）

●特選「ひと休み」今川美佐子（大阪府）、「ごめんなさい 失礼します」磯秀樹（和歌山県）、「センターは僕だ！」福森浩子（大阪府）

●入選

長嶋 健（東京都）、林 正修（愛知県）谷田 明（三重県）、中村光三 長谷川 悟（以上滋賀県）、臼杵辰朗 斉藤 貴 山本壽一 寺島和夫 高木正志 藤本節男 西村公雄 小松捷明 尾林茂昭 下村あつ子 長尾伸明 吉野勝也（以上大阪府）、塩田恭一（京都府）、山口和幸 山田善紀（以上奈良県）、武田真里 合田伸一（以上兵庫県）、藤野昌隆（福岡県）、中川 仰（富山県）、佐藤琢哉（宮城県）



最優秀賞「共演」野勢 誠（大阪府）



ヨドバシカメラ賞「射し込む」
堀 廣一（大阪府）



朝日新聞社賞「青空フィナーレ」
高橋修三（大阪府）



全日本写真連盟賞「情熱の美学」
小篠 勝（大阪府）

大阪府本部新委員の紹介

●原田聖司（大阪市）



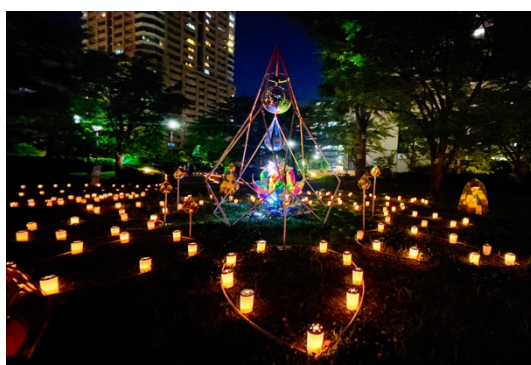
本格的に写真を撮る始めて 15 年くらいになります。それまでは日々、野球とジョギングに汗を流す肉体派の日々でありましたが、ある日、昔の古傷の左膝の爆弾が爆発したころにちょうど大阪府本部の初心者講座を受講していたことがご縁で会員になりました。それ以来、新設されたクラブに所属して生活の重心を写真に移行することになりました。2024 年より一足早く関西本部委員を任命されておりましたが、年齢的に公私共に時間をとれることになりましたので大阪府本部のお役に立てるように今年度より委員を仰せつかりました。委員の中では若手になりますが会員

の大幅減少といった大きな課題に向けて、大阪府本部の活性化にお役に立ちたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



読者の広場

<フォト小町・写楽 2008 合同写真展>



「街を癒す灯り」 白江恭子(フォト小町)

毎年梅田で開催されている「1,000,000 人のキャンドルナイト」。今年は西梅田でも同日開催となり、梅田一帯が灯りで包まれる写真愛好家には願ってもない日になりました。

周辺のお店やビルもこの日は 20 時から消灯や減灯されて、少し路地を入るとよく足元も見えないほど梅田が真っ暗になっていることに驚きました。手ブレに気をつけてキャンドルの写真を夢中で撮影していた私は、癒しよりも興奮が勝っていました。会場では優しい眼差しでキャンドルを眺める人々が行き交い、素敵な一夜を過ごされていました。

そんな雰囲気が少しでも伝わるとうれしく思います。

<第 48 回フォトクラブ 707 展>



「碧」 笹田浩司 (フォトクラブ 707)

まだ、デジタル一眼レフカメラが出始めてフィルムカメラが優勢だった頃、ポジフィルムで沖縄の慶良間諸島付近を空撮しました。

海面下の珊瑚礁が露出して普段とは一味違う景観になるのを期待して、大潮に近い日の干潮時を選択、タイミングよくクルーザーがチービシ（慶伊干瀬）付近を通過するのを見つけ、上空をゆっくり旋回してもらおうようパイロットの方をお願いして撮影しました